

長崎県立大学大学院

地域創生研究科

〔修士課程・博士後期課程〕

学生募集

地域社会マネジメント専攻

情報工学専攻

人間健康科学専攻

地域創生専攻



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

大学院の組織図

地域創生研究科 〔修士課程〕

専攻 (入学定員)	コース〔学位〕	学びのキーワード	想定される進路
地域社会マネジメント専攻(15名)	ビジネス・マネジメントコース 〔修士(経営学)〕	● 経営管理・経営戦略 ● リスクマネジメント ● 流通・マーケティング ● 会計・税法	企業、事業継承、地域資源を活かした起業、地域課題の解決を目指すNPO、NGOなど
	経済・地域政策コース 〔修士(経済学)〕	● 経済政策 ● 財政・地方財政 ● 公共政策 ● 地域計画 ● 地域経済	企業、地域活性化のコーディネーター、NPO、NGO、公務員など
	メディア社会コース 〔修士(メディア社会学)〕	● メディア ● ネットワーク社会 ● ジャーナリズム ● 比較社会	マスコミ、メディア関連企業、地方自治体の国際部門、国際機関、観光関連産業など
	国境離島文化振興コース 〔修士(文化振興学)〕	● 地域・離島文化 ● 国境離島史 ● 国際法	NPO、NGOなどの諸団体、公務員、他大学の博士課程への進学など
情報工学専攻(10名)	情報セキュリティコース 〔修士(情報工学)〕	● データセキュリティ ● ネットワークセキュリティ ● 暗号数理 ● 情報セキュリティリスク	国内外の情報産業各社及び関連企業、情報セキュリティベンダなど
	人間情報科学コース 〔修士(情報工学)〕	● 空間情報工学 ● ヒューマンインタフェース ● 実世界情報処理 ● 色彩情報	国内外の情報産業各社及び関連企業、コンテンツ産業及び関連企業など
人間健康科学専攻(12名)	看護学実践コース 〔修士(看護学)〕	● 看護管理 ● 母子看護 ● 成人・老年看護 ● 地域看護	病院、行政機関、福祉施設、大学などの教育研究機関など
	公衆衛生看護学コース 〔修士(公衆衛生看護学)〕	● 公衆衛生看護 ● 保険医療福祉行政 ● 健康危機管理 ● ケアシステムマネジメント	行政機関の保健師、民間企業、医療機関、大学などの教育研究機関など
	栄養科学コース 〔修士(栄養学)〕	● 機能形態学 ● 食品機能 ● 臨床栄養学 ● 生活習慣病	食品企業(研究・開発職)、病院、保健所、福祉施設、大学などの教育研究機関、大学院博士後期課程進学など

〔博士後期課程〕

地域創生専攻(3名)

- 地域マネジメント分野 〔博士(地域社会マネジメント)〕
- 地域情報工学分野 〔博士(情報工学)〕
- 人間栄養健康科学分野 〔博士(栄養学)〕

地域創生研究科

[修士課程・博士後期課程]

[修士課程]

地域社会マネジメント専攻

[修士課程]

情報工学専攻

[修士課程]

人間健康科学専攻

[博士後期課程]

地域創生専攻

設置の目的

本研究科においては、地域経済と高度ネットワーク社会の実情を把握し政策立案ができリーダーシップを担える人材、急速に進展をみせている情報科学の知識・技術を修得し高度知識社会の情報基盤を支える人材、看護と栄養に関する連携的な研究をベースに地域住民のQOL向上に貢献できる専門的人材の養成を目指すこととしています。

研究科長メッセージ

地域創生研究科長 大塚 一徳



本学は、平成28年4月1日に学部学科再編を行い、令和2年3月に再編後はじめての卒業生を送り出しました。学部学科再編の完成年度を迎え大学院教育への接続の必要性と、既設の研究科におけるこれまでの教育研究実績を踏まえ、全学的に大学院の内容を再構成する検討を行いました。その際には、長崎県を中心とした本学をとりまく社会の変貌や、本学大学院への期待に対し柔軟かつ的確に对应していくことに重点を置いた検討を重ねました。検討結果を踏まえ、令和2年4月1日に新たに大学院地域創生研究科修士課程を開設し、令和4年3月に地域創生研究科修士課程一期生を送り出しました。続いて、より高度な教育研究内容の追求と高度専門職業人の育成及び修士課程との接続を念頭に博士後期課程として地域創生専攻を令和4年4月1日に開設し、令和6年度に博士後期課程地域創生専攻の完成年度を迎え、博士(情報工学)を取得した修了生を送り出しました。

本研究科の修士課程は地域社会マネジメント専攻、情報工学専攻、人間健康科学専攻の3専攻で構成し、専攻ごとにコースを置いています。博士後期課程は地域創生専攻1専攻で、地域社会マネジメント分野、地域情報工学分野、人間栄養健康科学分野の3分野で構成しています。

本研究科への皆様のご入学を心よりお待ちしております。

地域社会マネジメント専攻

ビジネス・マネジメントコース

メディア社会コース

経済・地域政策コース

国境離島文化振興コース



こんな人を求めています。

- 経営学、経済学、マスメディア、社会学等の学びを深めたい人
- これまでの経験を理論化してさらに研鑽を深めたい現職者または退職者
- 税理士資格の取得を目指す社会人または学部生
- 海外進出、国内の新規市場創出、新製品開発等を考える経営者
- 地域資源の発掘と有効活用策について調査研究したい人
- 日本企業への就職や、日本で修士号を取得したいと考える外国人留学生
- 国境離島の文化や経済振興に主体的に貢献したいという意欲のある人



地域社会マネジメント専攻の特長

- より高度な経済分析能力が修得できる。
- 地域課題の原因や対処方法について専門的に理解することができる。
- メディア社会コースでは、実務家教員や中国人教員が在籍しているため、実践的に学ぶこともできる。
- 国境離島の文化や経済振興に関する科目が充実している。

※ビジネス・マネジメントコースでは、税理士資格を目指す方のための科目を開講しています。

専攻長メッセージ

地域社会マネジメント専攻長 山本 裕



本専攻は、大学院の改組後令和4年に一期生が修了し、学生の応募も県内に限らず北部九州で定着し評価を得て来ました。九州以外の受講生も在籍します。また、社会人が学びやすいように長期履修制度も整っています。

共通科目には「マネジメント・リーダーシップ特論」と「地域振興特論」を配置し、専門領域におけるリーダーシップ論について学び、さらに、地域振興における民間と行政の役割について理解を深めることが出来ます。大学院での学びの修得は、ビジネスやメディア、会計、行政の分野での実務に理論的な裏付けを与えるだけでなく、受講生が抱える課題解決に示唆を与えることもできます。

大学では教員との関係だけではなく、実務家の学生たちを中心に自生的なネットワークを構築し、異業種・異分野で相互に学び研鑽する場でもあります。

最後に、専攻の特長の一つと言える国境離島文化振興コースでは、教員の充実を図り、受け入れ態勢を整えてきました。県外からの応募も歓迎いたします。

ビジネス・マネジメントコース

企業・事業・職務の分析と、グローバル化・情報化した市場と地域の分析から、課題発見・問題解決方法探索能力を持った人材を養成します。

メディア社会コース

メディアによるコミュニケーションが社会に及ぼす影響について理解し、実践的にメディアを活用する能力を備えた人材を養成します。

経済・地域政策コース

経済・政策に関する知識を身につけるとともに、経済的知識・分析方法を用いて地域振興・活性化に活躍できる人材を養成します。

国境離島文化振興コース

「国境離島」の文化振興に主体的に貢献できる能力と国際協調の精神を有し、国際社会や地域社会に専門性を持って貢献できる人材を養成します。

研究テーマ（一例）

- ◆ 経営学、コーポレート・ガバナンス、CSR、地域研究
- ◆ 国際政治、国際関係論、アメリカの政治と外交
- ◆ 経済政策論、社会・経済システム論
- ◆ 政治学、日本政治外交史

研究指導教員および専門分野

詳細は下のQRからアクセスし、ご確認ください。



授業科目 一例（令和7年度）

修士課程共通科目			●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論	
専攻共通科目			●社会課題特論 ●現代政治経済社会特論 ●ヒューマン・リソース・マネジメント特論 ●経済統計特論 ●国際関係特論 ●離島社会情報特論	
専 門 科 目	ビジネス・ マネジメント コース	マネジメント系	●ビジネス・マネジメント特論 ●経営管理特論 ●経営組織特論 ●経営戦略特論 ●CSR特論 ●地域マネジメント特論 ●国際経営特論 ●中小企業特論 ●観光経営特論 ●コーポレート・ファイナンス特論 ●リスクマネジメント特論 ●長崎と九州の企業特論 ●地域事業継承・後継者育成特論	
		マーケティング系	●マーケティング戦略特論 ●流通システム特論 ●流通史特論 ●マーケティング史特論 ●国際・地域物流特論 ●国際経済特論 ●経営情報特論	
		会計学・関係法系	●会計学特論 ●財務会計特論 ●管理会計特論 ●企業税法特論 ●租税法特論 ●会社法特論	
	経済・ 地域政策 コース	経済学系	●経済学特論 ●経済政策特論 ●財政学特論 ●計量経済学特論 ●経済史特論 ●金融特論 ●労働経済特論	
		地域行政系	●公共政策特論 ●地域計画特論 ●地方行政法特論 ●市民参加特論 ●政策評価特論	
		地域政策系	●地域経済分析特論 ●農業経済特論 ●地域環境政策特論 ●交通経済特論 ●地域福祉特論	
	メディア社会コース		●メディア社会学特論 ●ネットワーク社会特論 ●メディアコミュニケーション特論 ●ジャーナリズム特論 ●国際メディア特論 ●現代社会特論 ●比較社会特論 ●文化社会学特論 ●日中文化社会特論 ●日英比較文化特論 ●観光振興特論	
	国境離島文化振興コース		●地域・離島文化特論 ●離島経済文化振興特論 ●国境離島史特論 ●宗教文化特論 ●村社会文化持続特論 ●離島文化ツーリズム開発特論 ●地域食文化特論 ●国際法特論 ●地方自治法特論 ●地域振興関係法規特論 ●離島教育支援特論 ●離島経済ネットワーク特論 ●地域情報経済特論 ●地域政策特論	
	研究指導科目			●特別研究 ●特定課題研究(ビジネスマネジメントコースのみ)

情報工学専攻

情報セキュリティコース

人間情報科学コース

こんな人を求めています。

- 情報セキュリティや人間情報科学に関わる問題を自ら発見し、解決する意欲・情熱を持つ人
- 専門分野の変化や革新に対して強い関心を持つ人
- 情報工学を理解するために必要な数学、理科の知識を深めたい人
- 情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野とその周辺分野に関心を持つ人
- 高度な知識・技術を修得し、人材不足といわれる情報セキュリティベンダなど、または、コンテンツ産業などの情報産業関連企業等へ就職を目指す人

情報工学専攻の特長

- 計算機科学、通信工学、サイバー攻撃の系統的追究、情報セキュリティリスクマネジメント、ソフトウェア工学、空間情報工学、実世界情報処理、ヒューマンインタフェース等に亘る多彩な研究領域。
- 国内初の情報セキュリティ学科での学びをさらに深める高度なカリキュラム。
- CGや映像、サウンド等の各種メディアを駆使し、情報をデザインする人間情報科学コースのカリキュラム。
- 課題設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養する研究指導。

専攻長メッセージ

情報工学専攻長 平岡 透



近年の情報技術の進展に伴い、さまざまな分野で情報技術が活用されています。情報技術の中において「情報セキュリティ」と「人間情報科学」は基盤となる技術であり、情報工学専攻でこの二つの領域について研究を通して深く学ぶことは、今後の社会を支える最先端の人材となるために重要であることは間違いないと思います。

情報セキュリティコースには、データセキュリティ、ネットワークセキュリティ、サイバーセキュリティ、モバイルセキュリティ、制御システムセキュリティ、基盤セキュリティ、暗号理論、生体認証、デジタル署名などの情報セキュリティに特化した教員が在籍しています。人間情報科学コースには、観光情報学、音響心理学、デザイン学、色彩情報学、感性情報学、芸術工学、画像処理、自然言語処理、地理情報処理、実世界情報処理、人工知能、機械学習、アクセス制御、データベース、ヒューマンインタフェース、コンピュータグラフィックス、コンピュータビジョンなどを専門とする情報工学における幅広い教員が在籍しています。このように、自分にあった情報技術分野の教員の下で、情報技術における横断的な研究を2年間行えます。

現在の情報技術は一つの情報技術だけでなく、多くの情報技術が融合して発展していますので、情報工学専攻で学ぶことは大いに意味のあることです。また、単に情報技術だけでなく、観光、防災、環境、農業、地域活性化などのような情報技術分野以外の分野と融合した研究が行えることも情報工学専攻の特徴になっています。

情報工学を通して世の中に貢献したい多くの皆様の入学を楽しみにしています。

情報セキュリティコース

情報処理技術者として必要な情報工学の知識や技術をベースに、情報セキュリティ分野で活躍するための最先端の専門知識や専門技術を持ち、高度情報化社会における情報セキュリティの問題を自ら発見し解決する能力を持つ人材を養成します。

学部教育で培った情報科学、セキュリティ技術、数理科学の知識・技術を基礎とし、更に高度な暗号技術、情報セキュリティ、リスクマネジメント分野におけるセキュリティ能力の修得を目標とします。

人間情報科学コース

情報科学を基礎とした人間の理解及び人間とコンピューターとの関係の理解を深めるための概念を創造できる人材、並びにこれらの理解に基づく情報技術を創造できる人材を養成します。

学部教育で培った知識・技術を基礎にモバイルアプリケーションの作成・開発、CGアニメーションの作成・開発、Webデザインの作成・開発、AI、データベース技術等をより具体的・現実的なソフトウェア開発に応用し、感情・色彩・視聴覚情報処理等のアプリケーション作成・開発の知識・技術の修得を目標とします。

研究テーマ（一例）

- ◆ PKI、情報セキュリティマネジメント、セキュリティ心理学と経済
- ◆ コンピュータグラフィックス、メディアコンテンツクリエーション

研究指導教員および専門分野

詳細は下のQRからアクセスし、ご確認ください。



授業科目 一例（令和7年度）

修士課程共通科目		●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論
専門科目	情報セキュリティコース	●データセキュリティ特論 ●生体認証特論 ●暗号数理論 ●ネットワークセキュリティ特論 ●インターネット基盤セキュリティ特論 ●制御システムセキュリティ特論 ●現代暗号特論 ●サイバーセキュリティオペレーション特論 ●数理科学特論 ●ソフトウェア開発プロセス特論 ●ユーザブルセキュリティ特論
	人間情報科学コース	●空間情報工学特論 ●聴覚情報処理特論 ●ヒューマンインタフェース特論 ●実世界情報処理特論 ●色彩情報特論 ●数理造形表現特論 ●社会情報科学特論 ●視覚メディア工学特論 ●感性情報学特論 ●計算機科学特論 ●データベース特論 ●数理情報特論
研究指導科目		●特別研究

人間健康科学専攻

看護学実践コース

公衆衛生看護学コース

栄養科学コース

こんな人を求めています。

- 高度の専門知識や技術を修得したスペシャリストを目指す人
- 企業や研究機関等での研究開発者や高等教育機関での教育研究者を目指す人
- 修士号を取得して研究職や管理職を目指す現職の看護師や管理栄養士
- 保健師になることを希望し保健師国家試験の受験資格を得たい人(公衆衛生看護学コース)

人間健康科学専攻の特長

- 看護学実践コースの修了生は、大学教員等の研究職あるいは病院等で看護管理者として活躍している。
- 公衆衛生看護学コースでは、多くの実習を配置しており、保健師に必要な実践力を獲得することができる。
- 栄養科学コースでは、基礎栄養科学系および実践栄養科学系の各分野から最先端の専門知識や技術を修得することができ、修了後に博士後期課程へ進学することもできる。

専攻長メッセージ

人間健康科学専攻長 倉橋 拓也



食と栄養、保健、医療、福祉は、私たちの健康を維持・増進するために必要不可欠なものです。この分野の教育研究に取り組む本専攻には、看護学実践コース、公衆衛生看護学コース、栄養科学コースそれぞれに、各専門分野の知識・経験と研究実績が豊富な専任教員が在籍しています。

授業はコースや専門分野の垣根を超えて開講していて、1つの専門分野に捉われない幅広い素養を養うことができます。一方、研究については、具体的に何を探究してどう活かすかは、コース・専門分野によって大きく異なります。詳細は「研究指導教員および専門分野」のQRからアクセスしてご覧ください。また個別に皆様の問題意識をお伺いし、最も専門領域に近い教員がご相談をお受けすることも可能です。応募するかどうかに関わりなく、ご興味があればどうぞお気軽にお問い合わせください。

働きながら大学院で学びたい社会人の方々で通学が困難な場合は、ご自宅等で夜間にオンラインで授業を受講することができます。研究指導についても、一部はオンラインで実施するなど、過度な負担なく学べる環境整備に努めています。実際に、本専攻には多数の社会人学生が在籍し、授業科目の履修と各自の研究に取り組んでいます。

本専攻からはこれまでに多数の修了生が巣立ち、病院、行政機関、高等教育機関、研究機関等で活躍しています。これから高度専門職業人を目指そうとしている方々、あるいは食と栄養、保健、医療、福祉の現場で具体的な課題をお持ちの社会人の方々のご入学を心よりお待ちしております。

看護学実践コース

看護実践領域における教育者・指導者を養成することを目的とし、研究能力の養成とともに、専門性の高い看護実践能力・看護管理能力や教育研究能力を備えたリーダーシップを発揮できる高度専門職を養成します。

看護実践能力、教育者としての能力及び看護マネジメント能力の修得を目標としています。

公衆衛生看護学コース

高い倫理観と幅広い知見を持ち、住民及び関係者と協働して健康な地域づくりに寄与する保健師を養成します。

看護実践能力、マネジメント能力、組織的解決能力、健康政策課題の考察力、自己研鑽能力の修得を目標とします。

修了者は保健師国家試験の受験資格を得られます。

栄養科学コース

栄養科学コースの基礎栄養科学分野では栄養素や食品成分の機能性発現機序や食の安全性のほか、環境保全、脳神経や生殖機能に関連した生理・生化学および公衆衛生学などの多岐にわたる分野の教育研究を行っています。実践栄養科学分野では臨床・公衆栄養、運動科学の分野からの疾患の予防や改善のほか、栄養・食事管理・教育に関わる実践的な知識・技術の修得に力点を置いています。

研究テーマ（一例）

- ◆ 看護管理学、臨床看護学、母子看護学、老年看護学
- ◆ 院内教育や患者教育等に関する事、看護学生に向けての教育等に関する事、看護職の中でも専門分野に関する事、認知症看護における看護職の困難感に関する事など
- ◆ 保健師活動や健康への支援に関する研究など
- ◆ 2型糖尿病患者の栄養状態、災害食のあり方と食育、食品成分の新規機能性など

研究指導教員および専門分野

詳細は下のQRからアクセスし、ご確認ください。



授業科目 一例（令和7年度）

修士課程共通科目			●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論
専攻共通科目			●健康科学特論 ●アカデミックスキル特論 ●保健統計演習 ●保健・医療政策特論 ●行政・組織特論 ●最新栄養科学特論
専門科目	看護学共通科目		●看護研究の理論と方法特論 ●看護理論特論 ●ヘルスアセスメント特論 ●医療経済・地域経済特論 ●グローバルヘルス特論 ●メンタルヘルス特論 ●看護倫理特論
	実践看護学コース	看護学実践系	●看護管理学特論 ●母子看護学特論 ●成人・老年看護学特論 ●地域看護学特論 ●英語論文読解特論 ●看護学実践演習 ●基礎看護学特論 ●看護情報応用特論
	公衆衛生看護学コース	基礎専門系	●公衆衛生看護学原論Ⅰ ●公衆衛生看護学原論Ⅱ ●活動展開・支援技術特論 ●対象別・健康課題別各論 ●地域診断特論 ●ケアシステムマネジメント特論 ●公衆衛生看護管理特論 ●公衆衛生看護学セミナーⅠ ●健康危機管理特論 ●疫学特論 ●保健統計特論 ●保健医療福祉行政特論 ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅰ ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅱ ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅲ
		発展専門系	●公衆衛生看護学発展実習Ⅰ ●公衆衛生看護学発展実習Ⅱ ●社会調査法特論 ●環境保健特論 ●公衆衛生看護学セミナーⅡ ●公共性特論
	栄養科学コース	基礎栄養科学系	●細胞生化学特論 ●有機化学特論 ●栄養生理学特論 ●機能形態学特論 ●代謝栄養学特論 ●食品衛生学特論 ●食品機能学特論 ●栄養疫学特論
		実践栄養科学系	●臨床栄養学特論 ●健康体力科学特論 ●調理科学特論 ●栄養管理学特論 ●フードマネジメント特論 ●生活習慣病医療学特論 ●公衆栄養学特論
研究指導科目			●特別研究(看護実践コース、栄養科学コース) ●特定課題研究(公衆衛生看護学コース)

地域創生専攻

地域社会マネジメント分野

地域情報工学分野

人間栄養健康科学分野

こんな人を求めています。

地域マネジメント分野

- 地域経済、経営、メディアに関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 情報工学、栄養健康科学などにも興味があり、持続可能な地域社会を実現するために広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するため、地域経済、経営、メディアなどの知識を駆使して研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人

地域情報工学分野

- ヒューマンインターフェース、計算機科学、情報通信に関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 地域経済、経営、メディア、栄養健康科学などにも興味があり、先進的情報技術を駆使しながら広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するため、先進的情報技術分野あるいはその活用分野における研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人

人間栄養健康科学分野

- 栄養健康科学に関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 地域経済、経営、メディア、情報工学などにも興味があり、栄養健康科学の知識と技術を駆使しながら広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するために、地域の保健・医療・福祉分野あるいは食品・医薬品関連分野における研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人

研究指導教員および専門分野

詳細は下のQRからアクセスし、ご確認ください。



専攻長メッセージ

地域創生専攻長 山本 裕



本専攻は、地域社会マネジメント分野、地域情報工学分野、人間栄養健康科学分野の三つから構成されています。大学院(修士課程)の一期生の修了にあわせ令和4年度に開設し、修士課程の学びを基礎として学位取得を目指します。また、社会人が学びやすいよう、長期履修制度も整っています。なお、令和6年度には最初の学位取得者を送り出すことができました。

専攻ではビジネスや行政、情報、健康に関する専門分野で、高度な知識や技能を修得し、普遍的な価値を創造するとともに実業や研究開発、人材育成で社会に貢献することが期待されています。これまで、大学院(修士課程)の旧課程では多くの人材を輩出してきましたが、修了生たちにも研究の継続と学位取得の機会を提供します。

専攻の特長の一つとして、共通科目に「地域創生学特講」と「地域創生学演習」、「アカデミックスキル特講」を配置し、研究・分析手法を学際的に学べ、また、それぞれの研究の進め方を客観的に評価しながら学ぶこともできます。受講生がお互いの研究を知る機会にもなり、あらたな価値創造にも繋がっています。県内外からの応募を歓迎いたします。

入学者選抜

	夏季募集	冬季募集 ^{※3}
入学時期	令和7年10月・令和8年4月 ^{※2}	令和8年4月・令和8年10月 ^{※2}
事前面談 ^{※1}	令和7年7月17日(木)～7月30日(水)	令和7年12月22日(月)～令和8年1月9日(金)
出願期間(インターネットによる出願)	令和7年7月23日(水)～8月1日(金)	令和8年1月5日(月)～1月15日(木)
試験日	令和7年8月23日(土)	令和8年1月31日(土)
合格発表日	令和7年8月29日(金)	令和8年2月6日(金)

※1 全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談(メールを含む)を行う必要があります。詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

※2 人間健康科学専攻(修士課程)および人間栄養健康科学分野(博士後期課程)については4月入学のみとする。

※3 夏季募集で、募集人員を満たした専攻(コースおよび分野)については、冬季募集を実施しない場合があります。夏季・冬季募集における募集人員の詳細については、今後、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

入試情報等の詳細については、
本学ホームページをご確認ください。



<https://sun.ac.jp/examination/graduate/>

出願要件

[修士課程]

- ①学士の学位を有する者、または大学を卒業した者(卒業見込みを含む)
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(卒業見込みを含む)
 - ③文部科学大臣の定めるところにより、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - ④本学大学院の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ※公衆衛生看護学コースにおいては、上記の出願要件のほか、日本の看護師免許を有する者(取得見込みを含む)とします。

[博士後期課程]

- ①修士の学位又は専門職学位を授与された者(授与される見込みを含む)
- ②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(授与される見込みを含む)
- ③文部科学大臣の定めるところにより、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者
- ④本学大学院の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者

出願資格審査

出願要件④による出願を希望する場合は、出願資格認定申請を行い、出願前に出願資格認定を受けることが必要です。

【出願資格認定申請期間】

(夏季): 令和7年6月23日(月)～7月2日(水)

(冬季): 令和7年11月27日(木)～12月4日(木)

※詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

入学科

県内生 176,500円 県外生 353,000円

※「県内生」とは、以下のいずれかに該当する者をいいます。

- i) 本人又は、その配偶者若しくは一親等の血族が、入学年度の前年の4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者
- ii) (修士課程)長崎県立大学の学部卒業見込の者
(博士後期課程)長崎県立大学大学院の修士課程修了見込の者

選抜区分と試験内容

専攻/コース		一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜		
		専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメント	○	○※	○	—	—	○	○	—	○
	経済・地域政策	○	○※	○	—	—	○	○	—	○
	メディア社会	○	—	○	—	—	○	○	—	○
	国境離島文化振興	○	—	○	—	—	○	○	—	○
情報工学専攻	情報セキュリティ	○	—	○	—	—	○	—	—	○
	人間情報科学	○	—	○	—	—	○	—	—	○
人間健康科学専攻	看護学実践	○	○※	○	○	—	○	—	—	—
	公衆衛生看護学	○	○※	○	○	○※	○	—	—	—
	栄養科学	○	○※	○	○	○※	○	○	○※	○
専攻/分野		一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜		
		専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接
地域創生専攻	地域社会マネジメント	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	地域情報工学	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	人間栄養健康科学	—	—	○	—	—	○	—	—	○

※英語の試験は、外部試験のスコアによって免除することができます。英語(該当区分のみ)の試験は、辞書持ち込み可。

授業料

[修士課程]

(円)

在籍形態	1年目		2年目		3年目		4年目		総額
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
標準(2年)	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	1,071,600
長期履修	3年	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	—	—	
	4年	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	

[博士後期課程]

(円)

在籍形態	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		総額
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
標準(3年)	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	—	—	1,607,400
長期履修	4年	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	—	—	—	—	
	5年	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	—	—	
	6年	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	

※授業料の金額は、現行の規定によるもので、変更になることがあります。

※授業料減免制度があります。詳しい内容は、下記の各校学生支援課学生グループへお問い合わせください。

奨学金

日本学生支援機構奨学金：貸与月額等(令和7年度実績)

区 分	第一種(無利子)	授業料後払い制度(無利子)		第二種(有利子)
		授業料支援金	生活費奨学金	
修士課程	50,000円または88,000円	年額(最大)535,800円に	0円(利用しない)、20,000円、	50,000円、80,000円、100,000円、
博士後期課程	80,000円または122,000円	保証料相当額を加えた額	40,000円のいずれか	130,000円、150,000円のいずれか

※授業料後払い制度は修士課程のみ対象です。上記以外にも地方公共団体、財団法人などの奨学金制度があります。

修了要件

[修士課程]

大学院に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文等の研究の成果の審査に合格すること。ただし、公衆衛生看護学コースにおいて保健師国家試験受験資格の取得を希望する者は、大学院に2年以上在籍し、所定の単位(63単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査に合格すること。

[博士後期課程]

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位(22単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

社会人学生等への配慮

長期履修学生制度

標準修業年限(2年もしくは3年)を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。納付する授業料の総額は標準修業年限で履修する学生と同額です(上記「授業料」をご確認ください)。申請は、出願時のみで、履修期間短縮は、在学中1回に限り申請できます。

その他特長的な履修方法(修士課程)

早期修了制度

本学規定の修了要件の特例「優れた業績を上げた者」として認められた場合、在学期間(通常2年)を短縮し、修了することができます。

※公衆衛生看護学コースは対象外

昼夜開講制度

夜間等に履修できるよう配慮します。志望する教員との事前面談の際にご相談ください。 ※公衆衛生看護学コースは対象外

オンライン授業

オンライン授業や研究指導等、学生の状況に応じて、柔軟に対応できる場合もあります。(指導教員に要相談)

先取り履修制度(長崎県立大学 学部より進学した者のみ)

大学院授業科目を学部生のうちに履修し、本学大学院に進学後、当該専攻が定めた上限単位数(最大で15単位)の範囲内において、大学院(修士課程)の修了に必要な単位として認定することができます。

お問い合わせについて

※専攻・コース/分野ごとに問い合わせ先が異なります。

地域社会マネジメント専攻

- ビジネス・マネジメントコース
- 経済・地域政策コース

地域創生専攻

- 地域社会マネジメント分野(主に経済学分野の学位)

地域社会マネジメント専攻

- メディア社会コース
- 国境離島文化振興コース

情報工学専攻

人間健康科学専攻

地域創生専攻

- 地域社会マネジメント分野(主に社会学分野の学位)
- 地域情報工学分野
- 人間栄養健康科学分野

佐世保校 学生支援課学生グループ

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123

TEL 0956-47-5703

シーボルト校 学生支援課学生グループ

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL 095-813-5065